

2015年度事業報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会(JMAS)

1 事業の成果

- (1) 地雷、不発弾及びこれらに類する爆発物の処理を支援・協力する事業をカンボジア王国、アンゴラ共和国及びパラオ共和国において実施し、地域住民の安全な生活環境の確保及び地域復興に寄与した。
- (2) 処理要員の養成を支援・協力する事業をカンボジア王国、ラオス人民民主共和国において実施し、CMAC及びUXOLao隊員に対する技術移転により地雷・不発弾処理の促進に寄与した。
- (3) 調査研究事業として、ベトナム社会主義共和国における事業検討のための調査を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
地雷、不発弾及びこれらに類する爆発物の処理を支援・協力する事業	①カンボジア・バッタンバン州の地雷処理跡地において地域復興支援のため小学校1校を建設その他、道路6.5kmの新設・補修、暗渠3か所及び溜池2箇所のインフラ整備を実施した。	通年	カンボジア王国	16名	バッタンバン州事業地域住民約5,000名	190,482
	②アンゴラ・ベンゴ州において、地雷機械処理促進・地域復興支援事業を実施し、94発の地雷・不発弾を処理し、29haの地域を安全化するとともに住宅用地及び道路等を整備した。		アンゴラ共和国	19名	ベンゴ州住民約10,000名	
	③パラオ・コロール州海域において、沈船、浅海域を対象とした海中における不発弾探査を実施し、爆雷26発、砲弾1発を発見した。その位置情報、状態等をパラオ政府へ報告するとともにパラオ水中不発弾処理基準作成を支援した。また、ヘルメットレックで発見した信管付爆雷2発を英国NGOと共同して爆破処理した。		パラオ共和国	10名	コロール州住民約10,000名及び観光客	
処理要員の養成を支援・協力する事業	①カンボジア・バッタンバン州において、CMACの能力構築支援のため統合地雷処理教育を86名に対し実施するとともに実習教育を通じ149発の地雷を処理し、219haの地雷原を安全化した。	通年	カンボジア王国	21名	CMAC約330名バッタンバン州事業地域住民約1,700名	277,599
	②カンボジアのCMAC訓練センター等において、能力構築支援のため不発弾処理教育を24名に対し実施するとともに実習教育を通じ3,351発の不発弾を処理した。			22名	CMAC54名コンポンチュナシ州等事業地域住民約16,000名	
	③ラオスのUXOLao不発弾訓練センター等において、不発弾処理技術教育を185名に対し実施するとともに実習教育を通じ爆弾15発を処理した。また、老朽化した施設のうち、教場及び付帯施設の建替えを終了し、現在学生宿舎の建替えを実施中		ラオス人民民主共和国	13名	UXOLao約1100名セーコン県等事業地域住民約7,400名	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
処理要員の養成を支援・協力する事業	④関係省庁の事業に係る公募に応募する予定であったが、公募がなかったため事業は実施しなかった。	—	—	—	—	—
処理器材及び処理要領に関する調査、研究並びに技術開発の事業	ベトナムにおける事業展開の可能性を調査するため、VNMAC、VVAF等を訪問し、事業検討の資料を得た。	3月	ベトナム社会主義共和国	2名	—	516
遺骨収集活動を支援・協力する事業	遺骨収集法案の成立が当初の見込みより遅れて年度末になつたため、新法人設立のための幹事団体として各種検討に参加する等の活動を実施した。	その都度	本部	4名	—	—
機関誌、刊行物等の発刊、広報活動及び政策提言等の事業	①刊行物の発刊等 ・「オヤジたちの国際貢献(10)」 及び「JMAS活動報告」を発刊・贈呈するとともに既刊行物を販売・贈呈した。	通年	本部	8名	約7,000名	409
	②ホームページの改修を継続実施して広報の充実及び会員・寄附の増加のための活動を実施した。		本部	8名	ホームページ閲覧者数 約67,000名	
	③グローバルフェスタ等各種イベントに参加し展示を行うとともに講演、研修受け入れ等実施した。		本部及び各国	27名	約1,600名	

※CMAC=カンボジア地雷処理センター UXOLao=ラオス不発弾処理機関 VNMAC=ベトナム地雷処理センター
VVAF=米国ベトナム退役軍人財団

(2) その他の事業

実施しませんでした。